

温暖化防止 家庭で率先

大富士小5年生



家庭での実践に役立てる自転車発電(上)こみ分別ゲーム(中)エコ生活大作戦(下)

体験学習「アースキッズ」

子供たちが環境について問題意識を持ち、家庭で率先して省エネやリサイクルなどの地球温暖化防止活動を展開する体験学習プログラム「アースキッズ」。

富士宮市では本年度、九つの小学校が取り組むこととしており、このほど大富士小で5年生約140人が学習を開始する「キックオフイベント」に臨み、必要な知識や実践の方法などを学んだ。

このプログラムは、地球温暖化防止活動推進センターが県や各町と連携して実施し、富士宮市は平成18年度から、各小学校が総合学習や社会科の一環として取り入れている。学習の流れは「キックオフイベント」に始まり、家庭でエコ生活を



実践した上で、「セレクト」で成果を発表し、エコリーダー認定証を受ける。家庭では電気や水道の節約、ゴミの減量を主な目的とし、普段の状況を調べ、無駄をなくするための作戦や目標を立て行動に移し、成果を確かめる。

大富士小では、5年生がSDGs(持続可能な開発目標)をテーマにした総合学習を進める中で、身近な生活と環境に目を向け、自ら実践する機会を創出している。

「アースキッズ」では、講師に同センターの職員8人を迎え、児童たちは講話で地球温暖化の原因や対策などに理解を深めた後、「自転車発電」(こ

高校会議所が定例会

まちづくりのヒントを得る

富士宮高校会議所のメンバーたちは、このほど定例会を西町レトロ館(西町商店街)で開き、ミス富士山の2人や、市内で地ビールを製造販売するファームント代表取締役の深澤道男さん、市教育委員の成人式担当者をゲストを迎え、まちづくりのヒントを得た。

ミス富士山は、市の魚ニジマスを使って開発した同会議所の「マスマス元氣せんべい」



が、土産物コンクール「それ、みやげにして宮一名物コンペ」で審査員特別賞に輝いたことから、祝福のために訪れた。せんべいを試しながら交流し、市の観光大使を務めるミス富士山の活動にも関心を深めた。

ファームントの深澤さんとは「純富士宮産さんとは」純富士宮産

は、自社栽培した作物を使ったビールや自らの狩猟したジビエ料理の提供のほか、再生可能エネルギーを活用するなどの取り組みを話し合った。同会議所は「SDGs実践が魅力的だった。今後、何かコラボレーションできればと思う」と報告した。

市教委からは社会教育課の望月克彦さんと山村由希さんを迎え、「令和4年度の富士宮

み分別ゲーム(エコ生活大作戦)の三つの体験コーナーを回った。自転車発電では全力でペダルをこぎ、タイヤの動力を電気に変えることで、ライトを付けたら、ラジオから音を出したりして、電気の仕組みや大切さを学んだ。エコ生活大作戦では家族が浴室、洗面所、居間、台所を使用する場面が描かれたパネルから、無駄なエネルギーがないかを探し、ごみの分別では多種多様な家庭ごみの中から、リサイクルできるものを考えた。

進めている」などとする回答を得た。

同社の加藤誠富士支社長らが来庁し、須藤市長に金子社長の回答書を手渡し説明した。

停電は、福島県沖を震源とする地震に伴い、同社と東北電力の発電所が同時に停止し、需給のバランスが大きく崩れたため、一部地域への送電を遮断することで、大規模停電を回避する電力システムの保護装置が自動作動したことに起因する。

市は連絡体制の構築に加え、自動停止地域の判断基準を明らかにするとともに、地域間で不均衡が生じないよう要請し、回答書では「停電エリアのバランスを考慮した設定についても検討を進めている」としている。

停電時の速やかな連絡体制検討

富士宮市は、2月13日に市内で4万戸弱の大規模停電が起きた際、東京電力パワーグリッドから正確な情報が速やかに提供されず、対応に苦慮したことから、須藤秀忠市長が同社の金子須則社長に改善を要請したところ、このほど「自治体等への連絡、対外的なお知らせについて、より一層速やかに伝えるよう、連絡体制の整備等検討を進めている」などとする回答を得た。

同社の加藤誠富士支社長らが来庁し、須藤市長に金子社長の回答書を手渡し説明した。

停電は、福島県沖を震源とする地震に伴い、同社と東北電力の発電所が同時に停止し、需給のバランスが大きく崩れたため、一部地域への送電を遮断することで、大規模停電を回避する電力システムの保護装置が自動作動したことに起因する。

市は連絡体制の構築に加え、自動停止地域の判断基準を明らかにするとともに、地域間で不均衡が生じないよう要請し、回答書では「停電エリアのバランスを考慮した設定についても検討を進めている」としている。

6月1日、特設人権相談

会場は西公民館、申し込み不要

人権擁護委員による特設人権相談が6月1日(火)午前10時～午後3時、富士宮市神田川町の西公民館で行われる。無料で申し込み不要。難しい手続きもない。秘密は厳守する。「人権擁護委員の日」

に合せて、委員が人権にまつわる問題解決の手伝いをする。

相談の一例はいじめいやがらせ、暴力行為虐待、インターネット上の人権侵害、新型コロナウィルス感染症に関連した差別。

電話相談の希望者も受け付けている。0545-531227(休日を除く午前9時～午後4時)。

人権擁護委員は昭和24年6月1日に施行された人権擁護委員法に基づいて職務をしており、毎年6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、相談や啓発活動などを実施している。

お母さんと赤ちゃんに優しいお産をめざしています

富士レディースクリニック

産婦人科専門医 母体保護法指定医 医学博士 院長 中山真人

産婦人科に詳しい分娩方法を教えてください。詳しくはぜひホームページをご覧ください。

診療時間 午前9:00～12:00 午後15:00～17:00 (土曜日14:00～17:00)

休診日 日曜日・祝日

Tel.0545-21-1111 http://fuji-ladiesclinic.com 富士市原田2254-1(吉原北中学校ウラ)

申焼の店

八寿龍

富士市中央町一丁目五番一号
電話0545(五二)二八八九

学校法人 旭学園 富士調理技術専門学校

★給付型奨学金制度範囲拡大!

資料請求・お問い合わせ随時
富士市岩本1951
TEL0545-62-0077

長谷川耳鼻咽喉科医院

院長 長谷川 剛

診療科目 耳鼻咽喉科

診療時間 9時～18時

月	火	水	木	金	土
◆	★	◆	休	◆	▲

★火曜日 9時～12時・15時～18時診療
▲月・金 9時～12時・14時～18時診療
▲土曜日 14時まで診療(6月～9月は12時まで診療)
休診日 木曜・日曜・祝日

TEL.0545-30-8733
富士市浅間本町1-49 http://hasejibi.c.ooco.jp

1階診療リニューアル / 3階健診ステーション新設

院長/宮下正雄 副院長/森 正樹 医師/宮下哲平

- 定期健康診断 ●雇入れ健診 ●生活習慣病予防健診
- 日帰り人間ドック その他オプション健診あり

時間	診察・健診日	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00		○	○	○	○	○	○	×
14:00～17:30		○	○	○	○	○	×	×

※土曜日午前中の健診も実施

外科・内科・胃腸科・肛門科
医療法人社団 雄健会 宮下医院 ⊕ 健診ステーション
富士市平垣本町4-1 ☎0545-61-0376(代)